

作成年月日	令和3年1月18日
作成部局	農政環境部環境管理局

兵庫県 - IGES - APN 地域循環共生圏フォーラムの開催

「地域循環共生圏」とは、各地域が美しい自然景観等の地域資源を最大限活用しながら自立・分散型の社会を形成しつつ、地域の特性に応じて資源を補完し支え合うことにより、地域の活力が最大限に発揮されることを目指す考え方であり、兵庫県では、(公財)地球環境戦略研究機関と連携して、阪神北地域における地域循環共生圏モデルの構築に取り組んでいる。

本県としては、2050年カーボンニュートラルを目指し、地域循環共生圏の重要性について県民との認識を深めるとともに、県内各地域での取組事例を踏まえ、今後の全県展開に向けての課題や各主体の果たすべき役割等を議論するため、下記フォーラムを開催する。

記

- 1 テーマ 再生可能エネルギーの導入による地域循環共生圏の創出
- 2 日時 令和3年2月15日(月)13時30分～16時30分
- 3 会場 ラッセホール2階ローズサローン(神戸市中央区中山手通4-10-8)
- 4 主催 兵庫県、(公財)地球環境戦略研究機関(IGES)、アジア太平洋地球変動研究ネットワーク(APN)
- 5 後援 (公財)ひょうご環境創造協会
- 6 内容
 - 13:30 開会・主催者挨拶
 - 13:35 基調講演「脱炭素・資源循環・自然共生の統合による地域循環共生圏の創造」
武内 和彦 氏((公財)地球環境戦略研究機関 理事長)
 - 14:15 招待講演「人、まち、自然の共存:持続可能な未来に向けて」
ショウ・ラジブ 氏(慶応義塾大学大学院 教授)
 - 14:40 事業報告「北摂里山地域の木質バイオマスの有効利用事業」
前田 利蔵 氏((公財)地球環境戦略研究機関関西研究センター副所長)
 - 14:50 休憩
 - 15:00 パネルディスカッション
コーディネーター:辻本 一好 氏(神戸新聞社 経営企画部専任部長 編集委員)
パネリスト:ショウ・ラジブ 氏
井筒 耕平 氏((株)sonraku 代表取締役)
乾 正博 氏(シン・エナジー(株) 代表取締役)
井上 保子 氏((株)宝塚すみれ発電 代表取締役)
高橋 壱 氏(洲本市役所企画情報部企画課担当係長)
菅 範昭 氏(兵庫県農政環境部環境管理局長)
コメンテーター:武内 和彦 氏
 - 16:25 閉会挨拶 鈴木 胖 氏((公財)地球環境戦略研究機関関西研究センター所長)
- 7 定員 会場参加:100名、リモート(Zoom)参加:100名

【問い合わせ先】兵庫県農政環境部環境管理局温暖化対策課 TEL078-362-3284



IGES

APN
ASIA-PACIFIC NETWORK FOR
GLOBAL CHANGE RESEARCH

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

兵庫県-IGES-APN

地域循環共生圏フォーラム

～再生可能エネルギーの導入による地域循環共生圏の創出～



令和3年2月15日(月)

13時30分～16時30分

ラッセホール 2階ローズサロンの

オンライン(ZOOM)

同時開催

定員:会場 100名/リモート 100名



コロナ後の
目指す社会像



自律分散・
相互連携・
循環共生



再生可能
エネルギー

「地域循環共生圏」とは、各地域が美しい自然景観等の地域資源を最大限活用しながら自立・分散型の社会を形成しつつ、地域の特性に応じて資源を補完し支え合うことにより、地域の活力が最大限に発揮されることを目指す考え方で。

兵庫県では、2050年カーボンニュートラルを目指し、地域循環共生圏の重要性について県民の皆様に認識を深めていただくとともに、県内各地域での取組事例を紹介し、今後の全県展開に向けての課題や各主体の果たすべき役割等をともに考えていく契機とするため、本フォーラムを開催します。

13:30	開会・主催者挨拶
13:35	基調講演 「脱炭素・資源循環・自然共生の統合による地域循環共生圏の創造」 武内 和彦(公益財団法人地球環境戦略研究機関 理事長)
14:15	招待講演 「人、まち、自然の共存: 持続可能な未来に向けて」 ショウ・ラジブ(慶応義塾大学大学院政策・メディア研究科 教授)
14:40	事業報告 「北摂里山地域の木質バイオマスの有効利用事業」 前田 利蔵(公益財団法人地球環境戦略研究機関関西研究センター 副所長)
15:00	パネルディスカッション コーディネーター:辻本 一好氏(神戸新聞社 経営企画部専任部長 編集委員) パネリスト:ショウ・ラジブ氏 井筒 耕平氏(株式会社 sonraku 代表取締役) 乾 正博氏(シン・エナジー株式会社 代表取締役) 井上 保子氏(株式会社宝塚すみれ発電 代表取締役) 高橋 壱氏(洲本市役所企画情報部企画課担当係長) 菅 範昭氏(兵庫県農政環境部環境管理局長) コメンテーター:武内 和彦氏
16:30	閉会挨拶 鈴木 胖(公益財団法人地球環境戦略研究機関関西研究センター 所長)

■ 講演者紹介



武内 和彦氏

1951年生まれ。農学博士。(公財)地球環境戦略研究機関理事長。東京大学未来ビジョン研究センター特任教授、国連大学サステナビリティ高等研究所上級客員教授などを兼務。専門は自然環境学、サステナビリティ学。



ショウ・ラジブ氏

1968年生まれ。理学博士。慶応大学大学院政策メディア研究科教授。SEEDS Asia 及び CWS Japan という2つの特定非営利活動法人の理事長を兼務。専門は環境防災マネジメント。

※申込み多数の場合は先着順とします。なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によっては、内容の変更又は開催の中止をすることがあります。

主催: 兵庫県、(公財)地球環境戦略研究機関(IGES)、アジア太平洋地球変動研究ネットワーク(APN) 後援:(公財)ひょうご環境創造協会

新型コロナウイルス感染症対策について

■以下の感染予防措置にご協力下さい。

- ・入場される際はマスクを必ず着用し、手指消毒をお願いします。・場内での大声等の会話をお控えください。
- ・密集を避けるため、お互いに間隔を空けていただきますようお願いします。
- ・新型コロナウイルス感染症が発生した場合は、入場者の氏名等を保健所等感染症対策担当機関に提供します。

■以下の場合、入場をお断りします。

- ・発熱があり検温の結果、37.5℃以上の発熱があった場合（入場時に検温を実施します。）
- ・咳、咽頭痛などの症状がある場合
- ・新型コロナウイルス感染症「陽性」とされた者との濃厚接触がある場合
- ・同居家族や身近な知人の感染が疑われる場合
- ・過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触がある場合

■会場では、兵庫県「新型コロナ追跡システム」(スマホ用アプリ)のQRコードを読み取り、メールアドレスの登録にご協力をお願いします。

■あらかじめ次の「新型コロナウイルス接触確認アプリ」(スマホ用アプリ)の登録にご協力をお願いします。

新型コロナウイルス接触確認アプリ（略称：COCOA）のインストールと稼働のお願い

厚生労働省開発の「新型コロナウイルス接触確認アプリ」(略称:COCOA)とは、利用者ご本人の同意を前提に、プライバシーを確保して、新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性について通知を受け取ることができるスマートフォン用のアプリです。ご来場の際には、あらかじめ、新型コロナウイルス接触確認アプリ(略称:COCOA)をインストールした上で、スマートフォンの近接通信機能(ブルートゥース)をONにしてください。

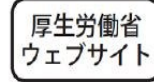
iPhoneの方はこちら



Androidの方はこちら



詳しくはこちら



※ 劇場等における感染拡大予防ガイドラインに従い、感染予防のための取組を行います。
皆さまのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

■ 会場案内

- ・神戸市営地下鉄「県庁前駅」下車 400m
- ・JR・阪神「元町駅」下車 東改札口 北へ 700m
- ・JR・阪急・阪神・神戸市営地下鉄「三宮駅」下車 1.1km
- ・高速「花隈駅」下車 1.1km

■ 申込方法

申込締切: 令和3年2月8日(月)

<FAXでのお申込み>

下記のフォームにご記入のうえ、お申込みください。

FAX: 078-262-6635



お名前	ご住所	参加方法 <small>(いずれかに○を付けてください)</small>	
(ふりがな)	〒	会場参加	
	電話 Eメール	リモート参加	

<オンラインフォームでのお申込み>

下記の URL、または右の QR コードからアクセスしてお申し込みください。

URL: <https://form.run/@Hyogo0215>



【申込先・お問い合わせ先】

(公財)地球環境戦略研究機関(IGES)関西研究センター

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2 人と防災未来センター東館 5 階

TEL: 078-262-6634, E-mail: kansai@iges.or.jp